

### 3 処理方法別典型7公害の直接処理件数

- 典型7公害の直接処理では、「発生源側に対する行政指導が中心」が64.6%、「原因の調査が中心」が22.3%

〈統計表第21表、第27表参照〉

典型7公害の直接処理件数(45,781件)を処理方法<sup>8</sup>別にみると、「発生源側に対する行政指導が中心」が29,556件(64.6%)、「当事者間の話し合いが中心」が821件(1.8%)、「申立人に対する説得が中心」が1,993件(4.4%)、「原因の調査が中心」が10,189件(22.3%)となっている。【図20、表11】

図20 処理方法別典型7公害の直接処理件数

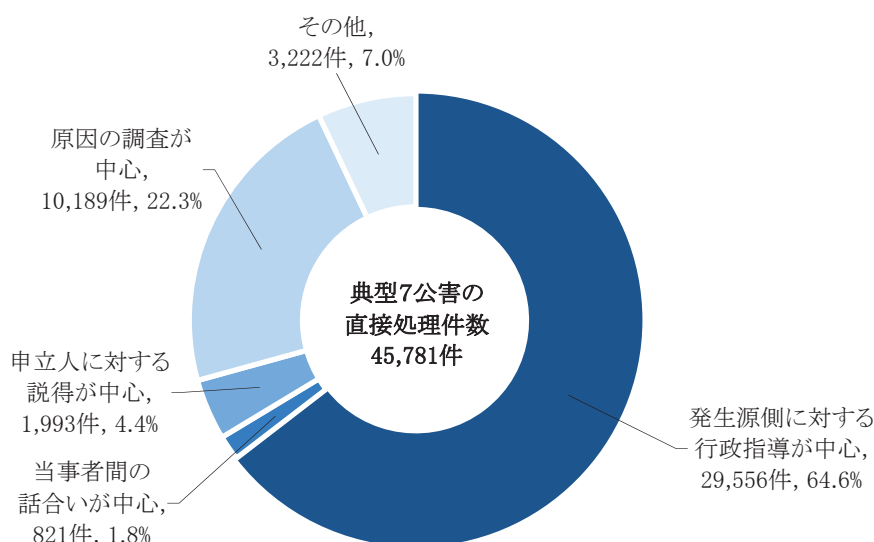


表11 処理方法別典型7公害の直接処理件数

(単位: 件)

公害の種類		合計	発生源側に対する行政指導が中心	当事者間の話し合いが中心	申立人に対する説得が中心	原因の調査が中心	その他
直接処理件数	典型7公害	45,781	29,556	821	1,993	10,189	3,222
	大気汚染	12,454	9,485	100	315	1,905	649
	水質汚濁	4,085	1,464	28	110	2,050	433
	土壌汚染	169	84	3	13	29	40
	騒音	17,861	12,143	482	942	2,884	1,410
	低周波音	243	46	19	31	121	26
	振動	2,259	1,558	56	110	388	147
	地盤沈下	16	7	1	3	3	2
	悪臭	8,937	4,815	151	500	2,930	541
構成比(%)	典型7公害	100.0	64.6	1.8	4.4	22.3	7.0
	大気汚染	100.0	76.2	0.8	2.5	15.3	5.2
	水質汚濁	100.0	35.8	0.7	2.7	50.2	10.6
	土壌汚染	100.0	49.7	1.8	7.7	17.2	23.7
	騒音	100.0	68.0	2.7	5.3	16.1	7.9
	低周波音	100.0	18.9	7.8	12.8	49.8	10.7
	振動	100.0	69.0	2.5	4.9	17.2	6.5
	地盤沈下	100.0	43.8	6.3	18.8	18.8	12.5
	悪臭	100.0	53.9	1.7	5.6	32.8	6.1

8 処理方法の区分は、「発生源側に対する行政指導が中心」「当事者間の話し合いが中心」「申立人に対する説得が中心」「原因の調査が中心」及び「その他」の5種類